

主要計数の推移および活動の状況

2022年度 事業報告 補足資料

自2022年4月1日 至2023年3月31日



一般社団法人

日本自動車連盟

目次

1 主要計数等の推移

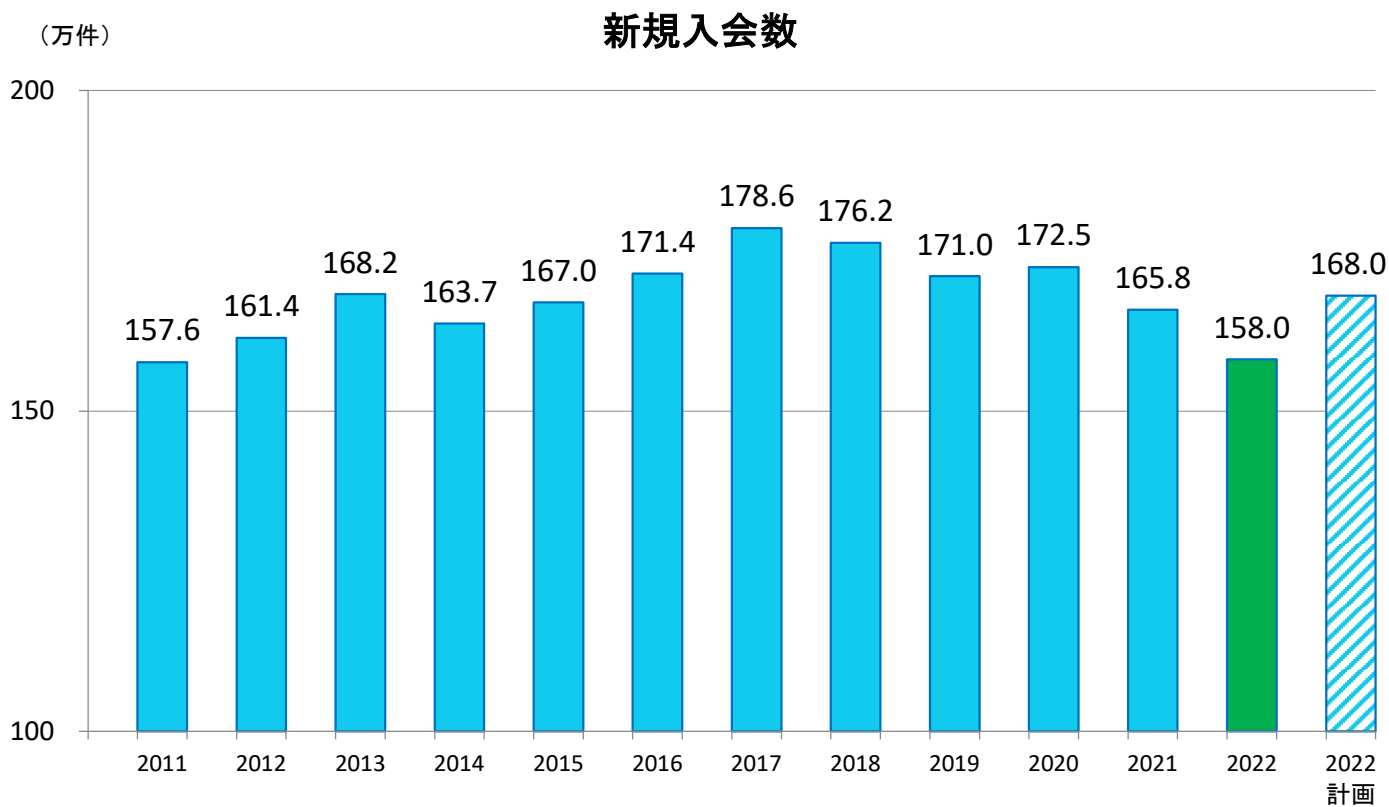
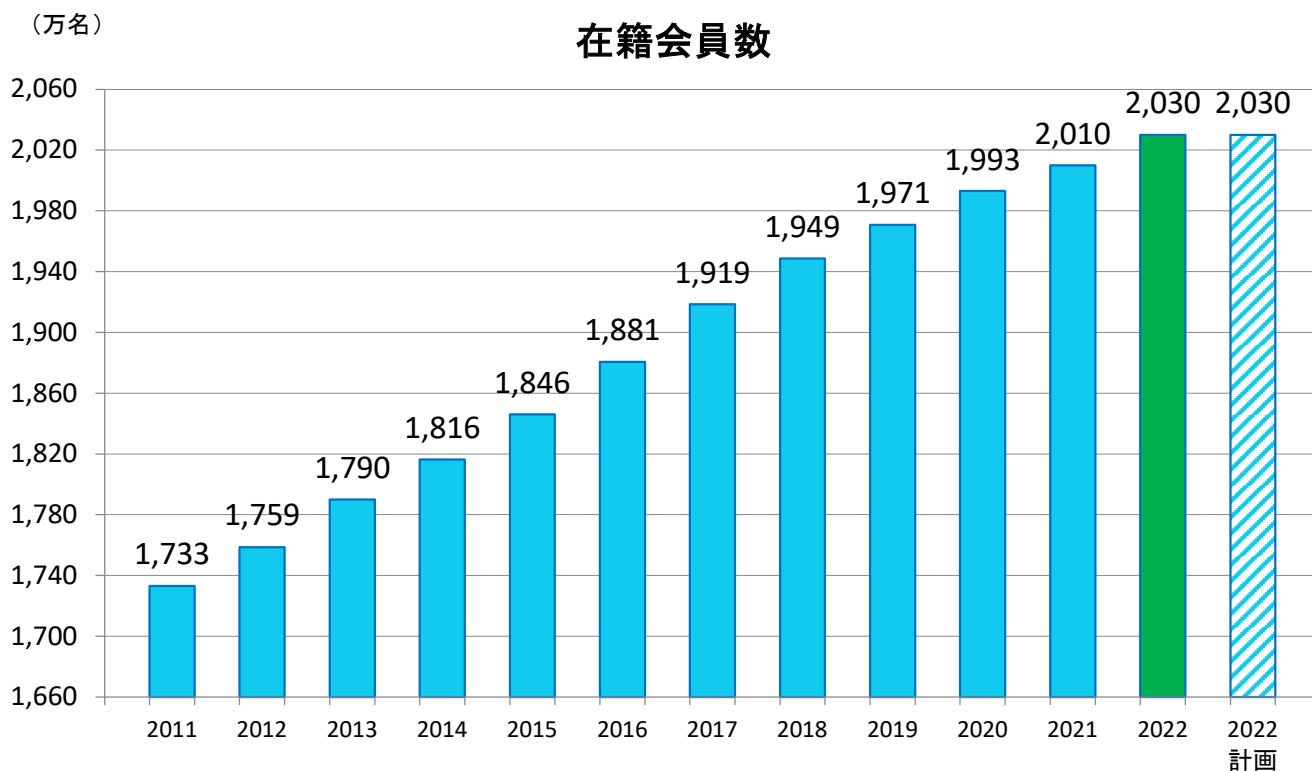
(1) 会員	1
(2) 交通環境活動	2
(3) ロードサービス	2
(4) 会員事業	3
(5) モータースポーツ	3
(6) 広報活動	4
(7) 主要計数等の達成状況	5

2 活動の状況

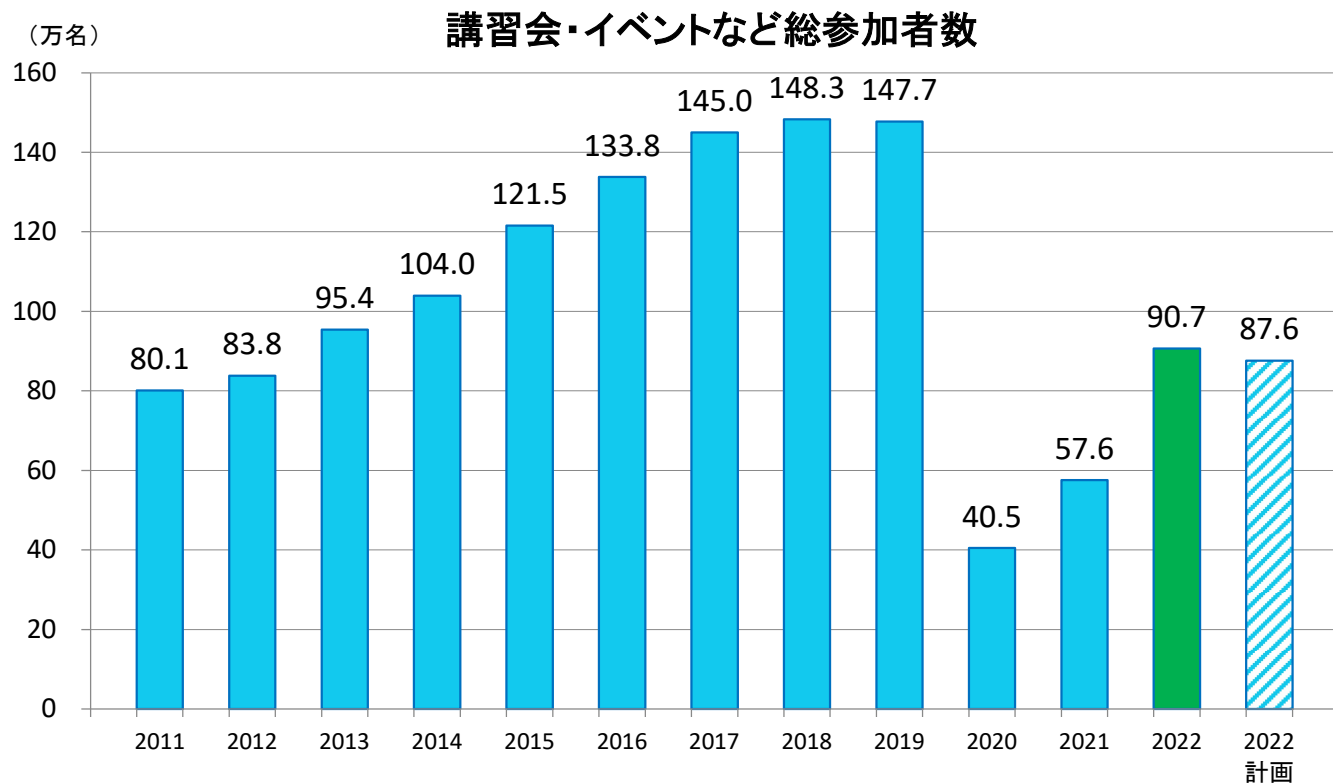
(1) 会員関連	6
(2) 交通環境活動	7
(3) ロードサービス	13
(4) 会員事業	14
(5) モータースポーツ	18
(6) 広報活動	19
(7) 国際活動	21
(8) 情報システム	22

1 主要計数等の推移

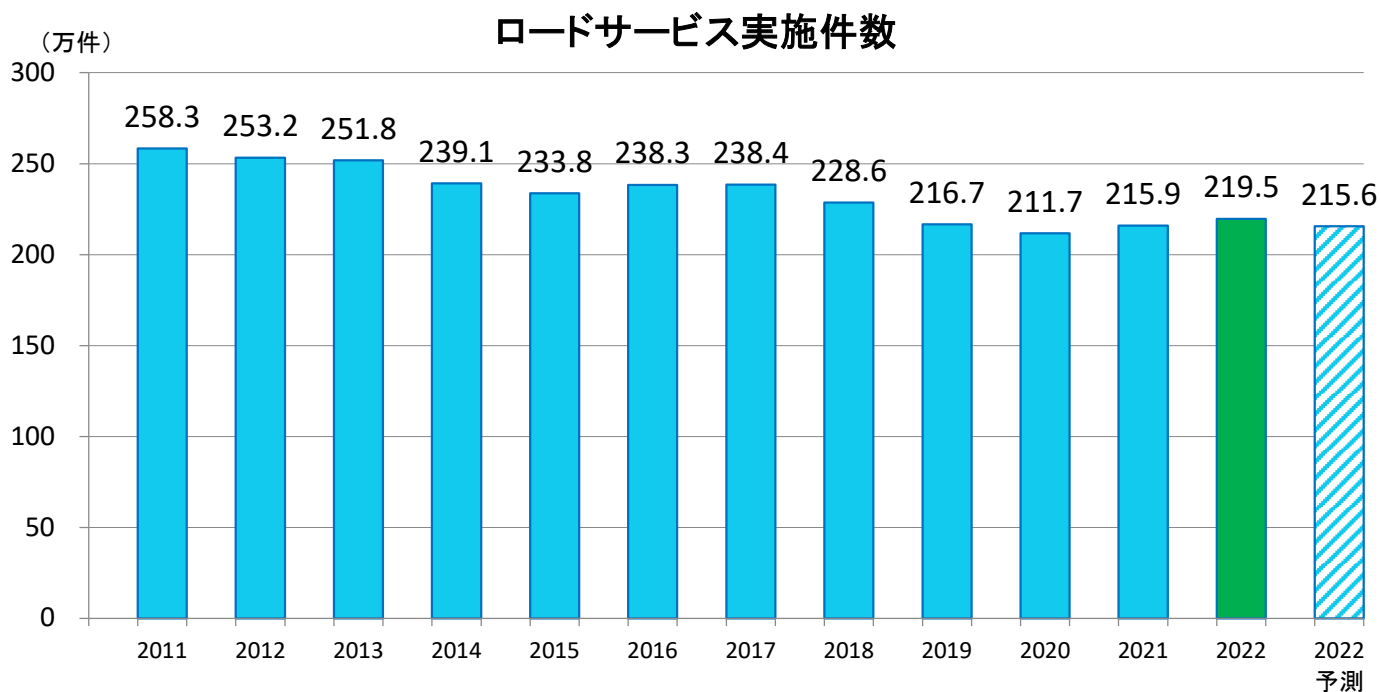
(1) 会員



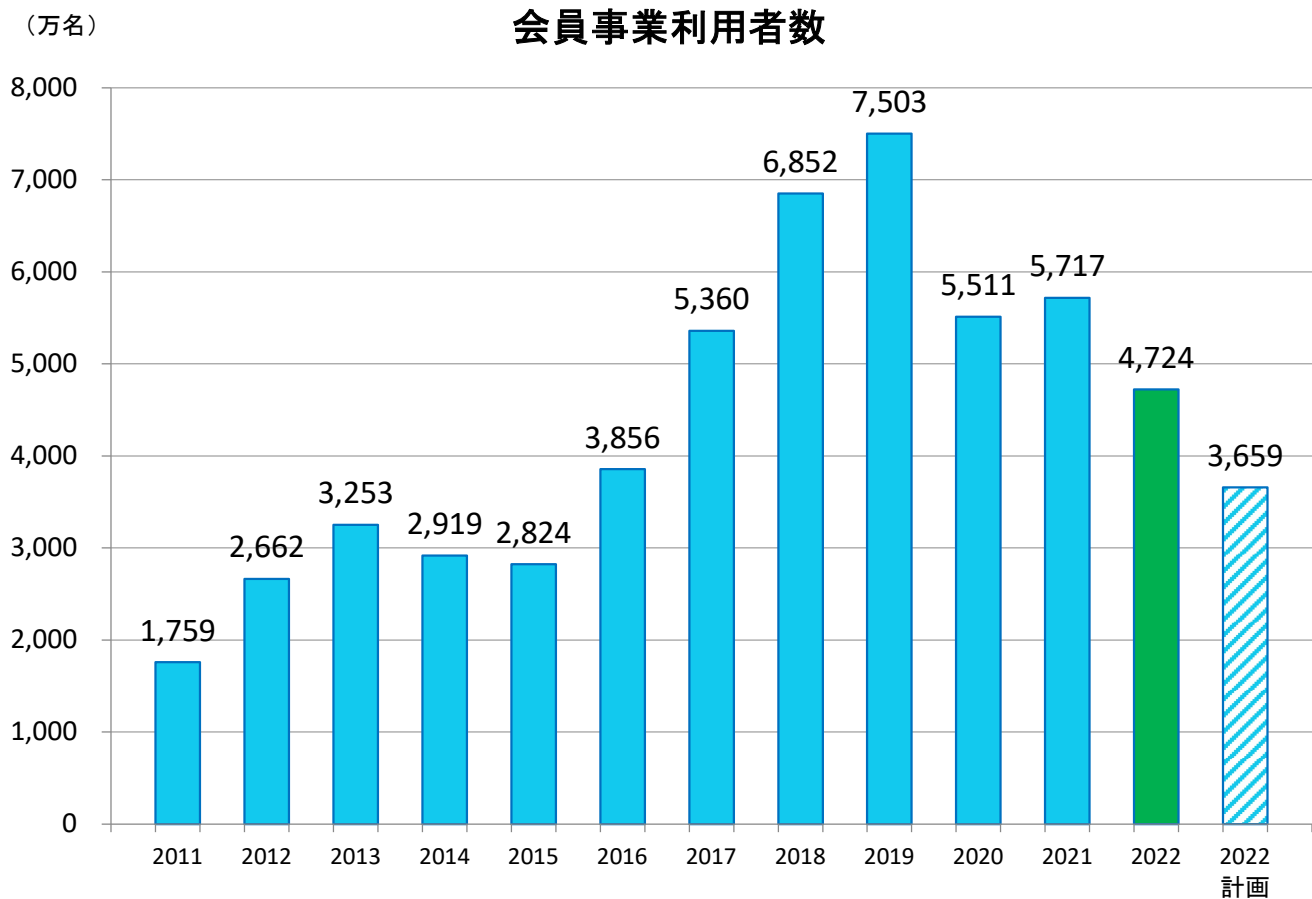
(2) 交通環境活動



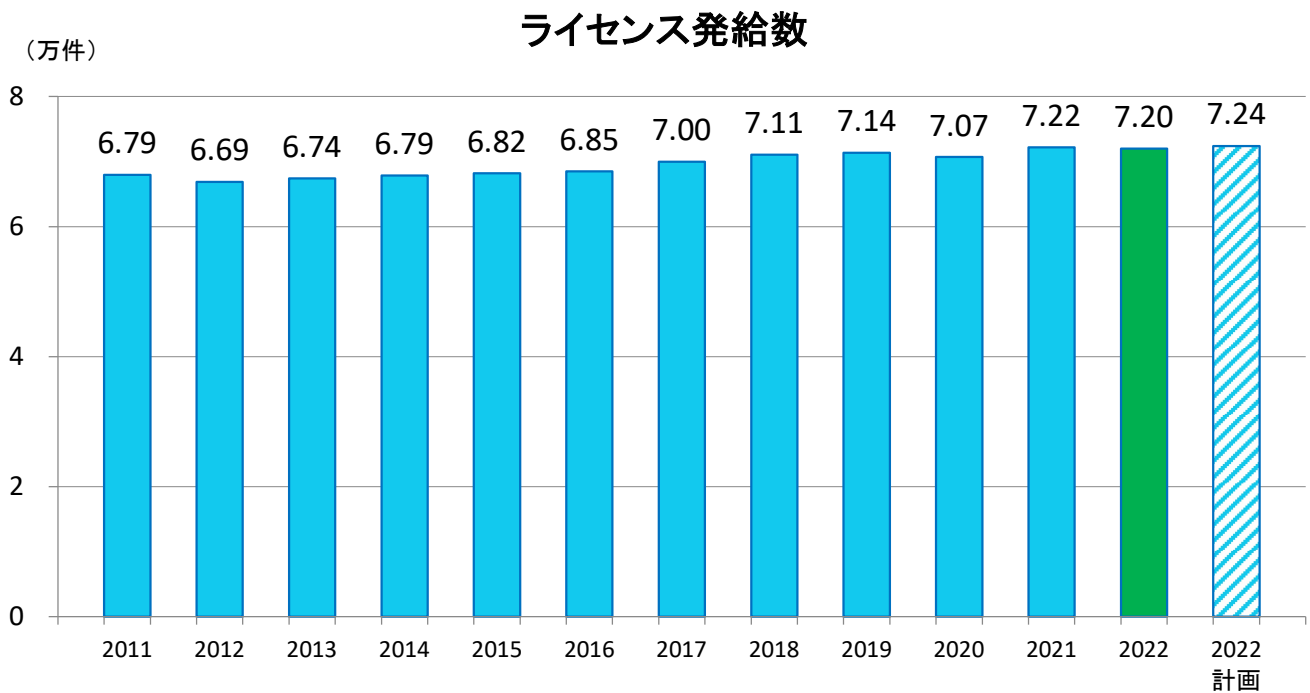
(3) ロードサービス



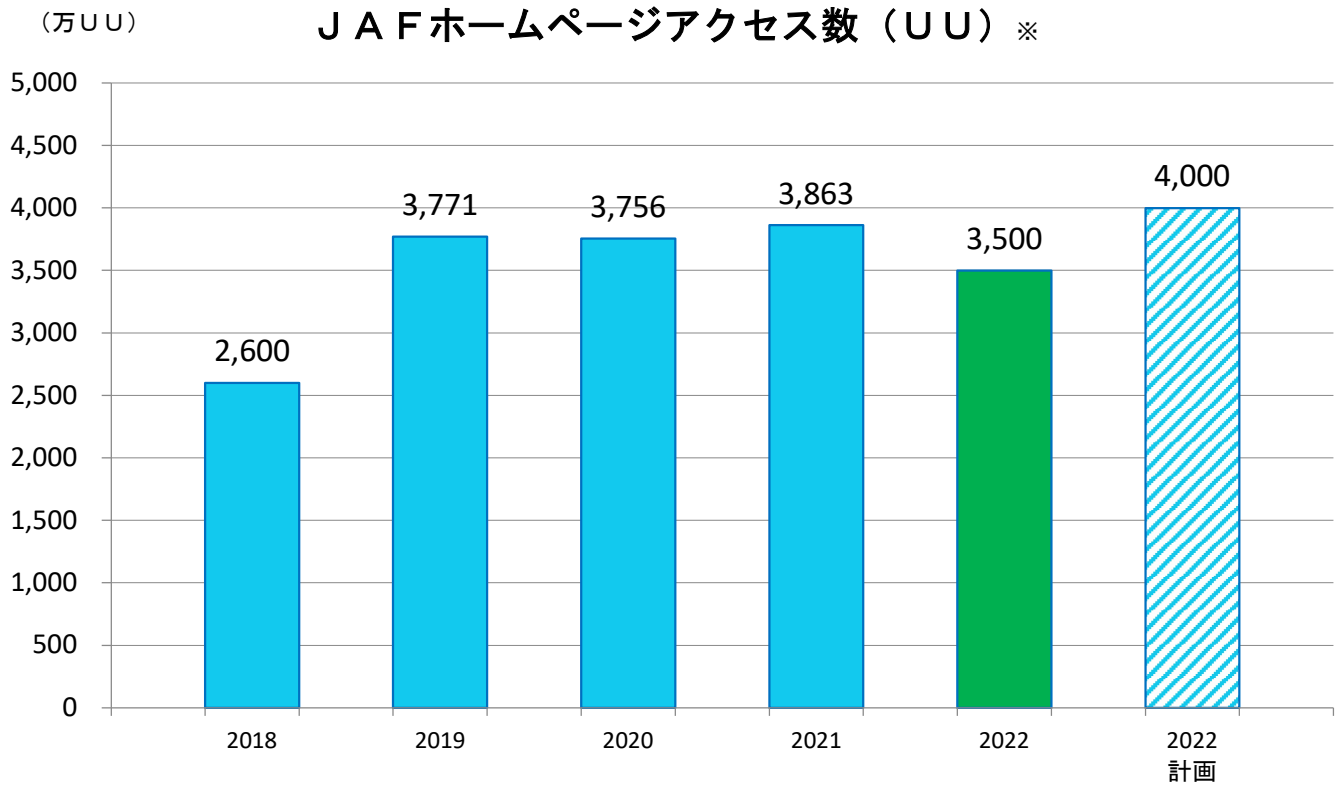
(4) 会員事業



(5) モータースポーツ



(6) 広報活動



※ UUはユニークユーザーの略で、ある期間内にホームページやその特定のページを訪問したユーザー数を示すものです。J A Fでは2018年から計測を実施しています。

(7) 主要計数の達成状況

1 会員

在籍会員数

2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
					3月末実績	計画数
19,185,692	19,487,221	19,707,591	19,931,302	20,099,526	20,301,304	20,300,000

JAFスマートフォンアプリ(デジタル会員証)登録者数

2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
					3月末実績	計画数
1,888,189	2,733,988	3,662,790	4,409,915	5,131,788	5,943,100	6,500,000

2 交通環境活動

総参加者数

2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
					3月末実績	計画数
1,449,734	1,483,061	1,477,357	404,968	575,747	906,949	876,000

3 会員事業

通年優待利用者数

2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
					3月末実績	計画数
36,110,999	40,220,071	37,441,761	24,225,216	25,586,498	28,538,227	34,747,000

アプリクーポン利用者数

2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
					3月末実績	計画数
106,874	122,075	186,799	421,985	1,056,822	2,129,714	1,500,000

4 モータースポーツ(集計:1~12月)

ライセンス発給数

2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	
					12月末実績	計画数
69,979	71,061	71,374	70,710	72,188	72,000	72,400

競技会開催数

2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	
					12月末実績	計画数
849	868	841	537	678	800	841

5 広報活動

JAF公式サイト全体ユニークユーザー数 ※1

2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
				3月末実績	計画数
26,002,751	37,709,170	37,559,109	38,632,157	35,001,116	40,000,000

モータースポーツサイトユニークユーザー数

-	500,805	499,254	859,785	844,343	720,000
---	---------	---------	---------	---------	---------

JAFナビユニークユーザー数

7,234,603	10,044,660	9,524,153	11,699,170	12,315,414	18,000,000
-----------	------------	-----------	------------	------------	------------

JAF Mate Onlineユニークユーザー数

2022年度	
3月末実績	計画数
4,814,431	5,500,000

【ご参考】

ロードサービス実施件数および予測数 ※2

2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
					3月末実績	予測数
2,384,110	2,286,043	2,166,947	2,117,485	2,158,586	2,195,442	2,156,000

※1 ウェブサイトに訪問した月間のユーザーの数の累計数

※2 主要計数ではなく予測数のため参考として表示

2 活動の状況

(1) 会員関連

① 営業支援ツール J A F L I N K Sへ新資料の格納

動画などを活用しJ A Fのサービスをおすすめするパンフレットを作成しました。このパンフレットは自動車販売店や取次店スタッフの営業支援ツールであるJ A F L I N K Sに格納しているため、いつでも印刷して使用いただけます。



チラシ イメージ

(2) 交通環境活動

① 社会貢献活動への取り組み

ア ドライバーズセミナーの視察及び改善策・好事例の共有

長く続く新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ドライバーズセミナーの中止が相次いでおり、運営や担当インストラクターの経験不足が懸念されたため、本部交通環境部より現地視察をおこない、安全かつ効率的な運営のための指導やアドバイスをおこないました。さらに視察で確認された好事例や改善点などを全国担当者に向けたビジネスチャットツールで共有しました。



ドライバーズセミナーの現地視察



改善策と好事例を資料化し全国に共有

イ 交通ルール・マナー向上のための実態調査

8月10～31日に全国94カ所で信号機のない横断歩道で歩行者横断時における車の一時停止状況全国調査をおこないました。その結果、一時停止率の全国平均は、39.8%と前年の調査時に比べ9.2ポイントの増加となりました。過去最高となるものの、依然として約6割のクルマが止まらない結果となりました。

各都道府県の調査結果については2018年からウェブサイトにて公開しています。調査結果や各地の活動は全国各地のテレビ局やインターネットニュースなどで広く取り上げられており、JAFの活動が社会に波及し、交通ルールが少しずつ浸透している状況です。引き続き、ドライバーと歩行者がお互いに交通安全につとめるよう啓発します。

北海道	青森県	岩手県	宮城県	福島県	秋田県	山形県	新潟県	長野県	茨城県	栃木県	群馬県
25.2%	56.7%	50.0%	48.6%	55.3%	50.3%	55.2%	25.7%	82.9%	26.3%	44.9%	31.1%
埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県	山梨県	富山県	石川県	福井県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県
34.5%	27.2%	27.3%	34.3%	64.6%	37.0%	36.0%	31.7%	57.0%	60.8%	55.2%	49.6%
滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県
33.3%	23.5%	26.4%	64.7%	32.1%	22.5%	29.6%	55.9%	49.0%	50.0%	52.9%	32.0%
香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	全国平均
26.0%	53.0%	32.9%	52.5%	25.1%	40.9%	57.3%	32.9%	53.6%	38.0%	20.9%	39.8%

2022年 信号機のない横断歩道における車の一時停止率（全国）

ウ 社会のニーズをとらえたユーザーテストの実施

「バックカメラの死角」「パンク応急修理キット」「夕暮れ時の日差し対策」「飲酒による運転への影響」の4つのテーマについて、JAF Mate 春号～冬号に検証結果を掲載しました。



バックカメラで見た車両後方



パンク応急修理に挑戦



西日が当たらない状態の見え方



西日が当たっている状態の見え方



西日が当たっている状態で、サンバイザーを使った場合

飲酒前



飲酒後



アイトラッキングで記録したモニターの視線のデータを可視化
(上写真：よく見ていた箇所順に赤色>黄色>緑色と示されている)

エ YouTuberと交通安全のコラボ動画を制作

幅広い年齢層の自動車ユーザーが交通安全をもっと身近に感じられるようYouTuber（ユーチューバー）の木村亜美氏とコラボレーションした動画を公開しました。「JAF先生に教わった！」シリーズの総再生回数は、3月末時点で239,126回でした。



「車庫入れ編」



「タイヤのパンク対処法：前編」



「タイヤのパンク対処法：後編」



JAF先生のアドバイス

オ 『「実写版」危険予知・事故回避トレーニング』コンテンツの新規公開

車の運転中に出遭うさまざまな交通場面の危険を予測する動画コンテンツ『「実写版」危険予知・事故回避トレーニング』の「交差点編」、「坂道編」、「自転車編」に新規動画を各1本公開し、「狭路編」を新設しました。「自転車編」では、前方の停車車両の死角に潜む危険を再現しました。一方新規テーマである「狭路編」では、対向車とすれ違うことのできない、道幅の狭い道路に潜む危険を再現し、注意をうながしました。



SCENE76 「自転車編その9」



SCENE77 「狭路編その1」

カ ボランティア活動の実施

(ア) 交通安全実行委員会の活動

会員や一般の方より、危険や不便と感じる道路や標識などに関する改善提案が413件ありました。

各支部においては交通安全実行委員会を76回開催し、改善要望提案を審議のうえ362件を関係機関へ提案しました。以前から要望している案件を含め、改善が確認されたものは98件でした。



改善前（中央分離帯がない）



改善後（中央分離帯が設置された）

(イ) J A F交通安全ドレミぐるーぷ活動



J A F交通安全ドレミぐるーぷの様子

キ 「JAFみんなのエコ川柳」Twitterキャンペーンの実施

21日間の応募期間で1,945句の作品が寄せられました。2月7日には審査委員会が開催され、4月13日にJAF公式ウェブサイトおよびJAFMate春号で受賞した15作品を発表しました。

【ECO大賞】	電気消す 指が地球を 青くする	@tubuyaki26
【審査員特別賞】		
やすみりえ賞	この星に やましいことは しない主義	@MrNaoemon
三好礼子賞	アクセルも ゆるふわ系を 目指します	@ziptoon
JAFMate賞	愛着は トрендよりも よく似合う	@omu06010_
JAF賞	高熱の 地球の医師は 君の意志	@AKAM_atm

ク ジュニアシート無償提供イベント（佐賀県）

集まった寄付金で114台のジュニアシートを用意し、JAF・佐賀県・公益財団法人佐賀未来創造基金と共催で10月1～2日に、イオンモール佐賀大和店にて大規模交通安全啓発イベントを開催しました。2日間での来場者数は5,464名でした。

また、イベント会場にて事前公募で当選した佐賀県内在住の希望者にジュニアシートの正しい使用方法などの説明・アドバイスをおこなったうえで、提供しました。



JAFインストラクターによる
ジュニアシート提供



チャイルドシートコンビンサーによる啓発

ケ JAF交通安全トレーニング（交通安全eラーニング事業）

交通安全eラーニング事業は、企業や団体を対象とした、交通安全管理に役立つサブスクリプションサービスです。



ロゴマーク



受講画面

② 自動車税制対策活動

ア 自動車税制に関するアンケート調査の実施

7月11～31日まで「自動車税制に関するアンケート調査」を実施し、135,282名(前年度115,813名)の自動車ユーザーより回答をいただきました。

- ・自動車にかかる税金を負担と感じる自動車ユーザーの比率は、実に98%という高率が続いており、ここ数年、自動車ユーザーの重税感はまったく緩和されていない。むしろ「非常に負担に感じる」と答えた方の割合は3年間で約8%増加している。
- ・地方においては一世帯に複数台所有せざるを得ない状況であり、地方ほど自動車にかかる税金が大きな負担となっているという指摘のある現行の自動車税制について、回答者の94.1%が「現行の自動車税制を見直して自動車関係諸税の負担を軽減すべき」と考えている。
- ・廃止された自動車取得税と似通った環境性能割の付加については、約8割のユーザーが納得していない。
- ・自動車税の恒久引き下げが実現されたものの、89%の自動車ユーザーがその対象を新車だけでなく、現在保有している車にも望んでいる。
- ・自動車税および自動車重量税については、9割以上が廃止または軽減すべきと回答している。
- ・本来の税率を上回る税率が「当分の間」として維持されていることには、9割以上が「反対」と回答している。
- ・ガソリン税のTax on Taxの是正を9割以上の回答者が望んでいる。
- ・13年経過車に対する自動車重量税および(軽)自動車税の重課がなされていることに9割近くのユーザーが反対している。
- ・脱炭素社会の実現に向けて自動車税制はどうあるべきかを伺ったところ、「減税を前提に自動車税制の抜本的見直しをすべき(ゼロベースから考えるべき)」と、5割以上のユーザーが回答している。

アンケート結果の概要

イ 自動車ユーザーへの活動(街頭活動等)

「自動車ユーザーの生の声を集める活動」を再開し、2,077名のご意見が集まりました。初の試みとして、集まったご意見をJAF本部があるNBFビル1階に2月17日～3月27日まで展示しました。

また、自動車税制改革フォーラム活動の一環として、イベントなどで活用できるチラシの作成と広く一般に発信できるTwitterを活用し、全8回の投稿にわたって訴えました。

※ 一部の支部では自治体や関係団体と調整のうえ、実施いたしました。実施支部は、札幌・函館・栃木・静岡・愛知・三重・愛媛支部です。



自動車ユーザーの声NBF展示風景

ウ 国会議員・知事への要望活動

「自動車税制に関するアンケート」の結果を受け、10月5日に「JAF税制対策委員会」(慶応義塾大学教授 加藤一誠 委員長)を開催し、「2023年度税制改正に関する要望書」を取りまとめました。

この要望書を用いて、各支部で地元選出の国会議員に対し、ユーザー負担軽減への理解を求め要望活動を実施しました。また、愛知県大村知事とともに自民党税制調査会の宮沢会長や各関係省庁の大臣等に陳情しました。

(3) ロードサービス

① 社会貢献活動

全国各地で発生した災害などに対し、各関係機関と連携し救援作業を実施しました。



被災車両けん引の様子

② 後方警戒装置の運用開始

安全性を保ちながら生産性を向上させるため、後方警戒装置を全国30台導入しました。後方からの車両接近を検知し警報を発報して作業者、お客様の避難を促す装置です。

交通量の比較的少ない高速道路などに限定して11月から運用を開始しています。

。



① 車両を検出するカメラ



② 画像を分析し検知する小型PC



③ 車両の接近を知らせるブザー

(4) 会員事業

① デジタルコンテンツ

会員の声をもとにページの見やすさや使いやすさを考え、JAFナビやJAFスマートフォンアプリの改修を続けています。施設詳細のデザインを変更し、アプリクーポンと期間限定の優待を並列で並べることで今実施している優待をわかりやすく表示できるようにしました。



JAFスマートフォンアプリ



アプリクーポンと期間限定をわかりやすく表示



市区町村の検索を追加

② 地方創生に向けた取り組み

ア 自治体との連携および地域振興活動

山口県防府市と周南市にあるカフェ6スポットを巡ってもらう「防府×周南 まったりカフェ巡り チルい近旅！（2023年1月10日～2023年3月31日）」や徳島県鳴門市では、渦潮のようにくるくると観光施設（10スポット）を回る「くるくる回ろう鳴門 ドライブスタンプラリー2023（2023年3月1日～2023年5月31日）」など全国各地で、会員をはじめとした皆さまと地域のニーズに合わせたものを実施しています。



【防府×周南 まったりカフェ巡り チルい旅！】
 期間：2023年1月10日～2023年3月31日
 主催：防府市・周南市
 参加者数：579名



【くるくる回ろう鳴門 ドライブスタンプラリー2023】
 期間：2023年3月1日～2023年5月31日
 主催：一般社団法人 鳴門市うずしお観光協会
 参加者数：375名（2023年3月末現在）

イ 産官学連携活動

大学や自治体などと連携し地域振興を推進する産官学連携を推進しており、現在全国で7地方本部18支部が25校と活動中です。

【主な産官学連携活動】

	学校名	内容
長野支部	信州大学	長野県をフィールドとした観光PR動画を信州大学の学生が主導となり共同作成しました。優待施設連絡会にて、デジタルマーケティングの視点や動画を作成するうえで考慮すべきことなどを動画を作成した学生に解説いただきました。
札幌支部	札幌市立大学	2月12日に三井アウトレットモール北広島にて厚真町、札幌市立大学の三者でイベントに出展し、来場者向けのドライブ周遊観光に関するアンケートを実施しました。
愛知支部	愛知学院大学	愛知学院大学よさこいサークル「常笑」とコラボレーションし、名古屋市交通安全・生活安全市民大会のステージで反射材を衣装に装飾しパフォーマンスを披露しました。また学生から提案のあった企画「【JAF×常笑】JAFの裏側に迫ってみた!」では、学生目線でJAFの事業活動取材し、動画にまとめて公開しました。

ウ グリーンスローモビリティ

グリーンスローモビリティ※を活用し、地域の課題解決を目的としたモビリティサービス導入の業務支援について、6月8日より、ヤマハ発動機株式会社と協同事業を開始し、15自治体4事業者へグリーンスローモビリティや導入支援内容についてご案内しました。

2月8～21日には、ヤマハ発動機との協業で導入をサポートした最初の事例として、埼玉県秩父郡小鹿野町にて実証走行が行われました。

※ 時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両も含めた総称



小鹿野町実証走行出発式および実証走行の様子

③ ライフサポート事業について

会員の生活における困りごとに対して安心・安全をお届けすることを目的としてライフサポート事業をおこなっています。3月時点の登録数については、加入促進キャンペーンなどの実施により、「JAFのホームライフサポート」は3,658名、「JAFでんき」は1,502名、「JAFの保健室」は41名、「JAFの保険」は3,052名となりました。

JAFのライフサポート

ライフ お家まわりのトラブル解決サービス JAFのホームライフサポート

JAFの安心・安全ブランドから生まれた新サービス！
24時間365日お家まわりのトラブルにいつでも対応

水 カギ ガラス 電気 補具

通常作業料8,000～10,000円程度の使用が
JAF会員なら年間2,200円で基本料金（出張料・作業料）が無料！

JAFのホームライフサポートだからできる！
5つのシーンのお困りごとを解決

契約者だけじゃない！ 離れて暮らすご家族のお家まわりのトラブルにも駆けつけます！

ご加入はウェブから！
年々385円増し JAF会員：2,200円/年 一般の方：3,300円

ライフ 家庭向け電気サービス JAFでんき

電気代はそのまま、JAF個人会員年会費分が毎年おトクに！

ご自宅の電気をJAFでんきに切り替えていただく。電気代は変わらず、毎年JAF個人会員年会費4,000円分をJAFでんきが削減！
JAF年会費の支払いが自動的に完済されます。

JAFでんきの魅力

- JAF個人会員 年会費4,000円が 毎年無料[※]になる！
- でんきアプリで 毎日の電気代の 確認が可能
- 申し込みは 簡単シンプル！ 面倒な手続きは不要
- 電気の 信頼性と品質は そのまま

お申し込みはウェブ限定！

※お申し込みの条件、変更などの場合は必ずJAFの保険センターまでお問い合わせください。
※お申し込みの条件、変更などの場合は必ずJAFの保険センターまでお問い合わせください。
※お申し込みの条件、変更などの場合は必ずJAFの保険センターまでお問い合わせください。

ヘルス オンライン医療サービス JAFの保健室

カラダに関する不安や疑問をサポートする、オンライン医療サービスが新登場！

JAFの保健室
カラダにも、安全安心を。

こんなお悩みは…
「病気の診断で悩んでいる」
「病状の経過がわからない」
「検査の結果が気になる」
「家族の体調が気になる」

寛家のサービス内容！
①ウェブで医師の専門家に相談できる
②24時間365日オンライン診療を受けられる
③検査の受診を予約できる
④お薬の処方箋を予約できる
⑤人間ドックを予約できる

利用者からの嬉しい声！
「40代男性、
癌が心配で、
不安を感じながら、
オンラインで専門家の意見を
聞けてとても助かりました。癌が怖い、
でも、
相談が受けられたので、
安心感を感じ、
今度行くことにしました。」

月額385円増し。カラダについて何かあった時、不安に思った時、
どこにいても、24時間365日オンラインで安心サポート！

ヘルス 毎日の暮らしにもっと安心を。 JAFの保険

JAF会員限定の保険です
JAF会員の皆さまとご家族の方々に寄り添って、毎日の暮らしに安心をサポート。そんな思いから「JAFの保険」は生まれました。この機会に「保険」を見直してみませんか？
お見積りやお申し込みはウェブで簡単にご予約いただけます。

- JAFの生活習慣病保険：生活習慣病に対する保障を一生涯カバー
- JAFのがん保険：がんに関わる費用をサポート
- JAFの医療保険：日帰り入院から手厚く補償
- JAFの介護保険：ご両親の介護資金に備えて
- JAFの傷害保険：会員の日常生活を守る
- JAFの介護保険：最期まで自分らしく暮らせるように

ウェブで簡単！「保険センター」へ！

(5) モータースポーツ

① 「JAF MOTORSPORT JAPAN 2022」の開催

モータースポーツ振興イベント「JAF MOTORSPORT JAPAN 2022」を、JAF主催のもと11月19～20日にお台場特設会場青海地区NOP街区にて開催しました。お台場での開催は2019年以来3年ぶりとなります。

会場では従来のモータースポーツ車両の展示に加えて、「JAF Eco Rally Tokyo Demonstration」の他、全日本カート選手権EV部門最終戦、フォーミュラE車両のデモンストレーション走行など、環境対応をテーマとしたコンテンツを展開し、2日間でのべ72,756人の方が来場しました。



全日本カート選手権EV部門



フォーミュラE車両
デモンストレーション走行

② JAFモータースポーツ表彰式の開催

国内トップカテゴリーで優秀な成績を収めたチャンピオンおよび上位入賞者の方々の栄誉を称え「JAFモータースポーツ表彰式」を11月25日に東京都港区のステラボールにて開催しました。



表彰式の様子

(6) 広報活動

① 各種イベントブースへの出展

モータースポーツやJAFの諸サービスの認知向上を目的に、「F1日本グランプリ」など、大規模イベントへブースを出展しました。「第21回JAF鈴鹿グランプリ」では、会員向け大抽選会や、実際の競技車両を目の前で見られる「ストレートパルクフェルメ」の会員優先アーリーオープン企画を実施しました。

また、東京オートサロンではeモータースポーツ振興を目的にブース内へレーシングシミュレーターを2台設置し、プロレーシングドライバーの佐藤琢磨選手をお招きしてデモ走行を披露していただきました。

バイクのロードサービスについても、さらなる認知向上を目的に山梨県の「ふじてんリゾート」にて開催された「YAMAHA Motorcycle Day 2022」や「第50回 東京モーターサイクルショー」にブースを出展しました。



会員向け大抽選会
(JAF鈴鹿GP)



ストレートパルクフェルメ
(JAF鈴鹿GP)



佐藤琢磨選手によるデモ走行
(東京オートサロン)



東京モーターサイクルショー

④ モビリティ・レジリエンスプロジェクトについて

前年度のビジネスアイデアコンテストのクラウドファンディング部門にて最優秀賞を獲得したモビリティ・レジリエンスプロジェクトについて、7月13日～9月8日の期間でクラウドファンディングを実施しました。目標金額300万円のところ、のべ426名の方から約364万円の寄付をいただき終了となりました。

12月21日に東北本部宮城支部にて寄付金贈呈式を開催し、一般社団法人日本カーシェアリング協会に寄付しました。



寄付金の贈呈

(7) 訪日外国人向けサービス

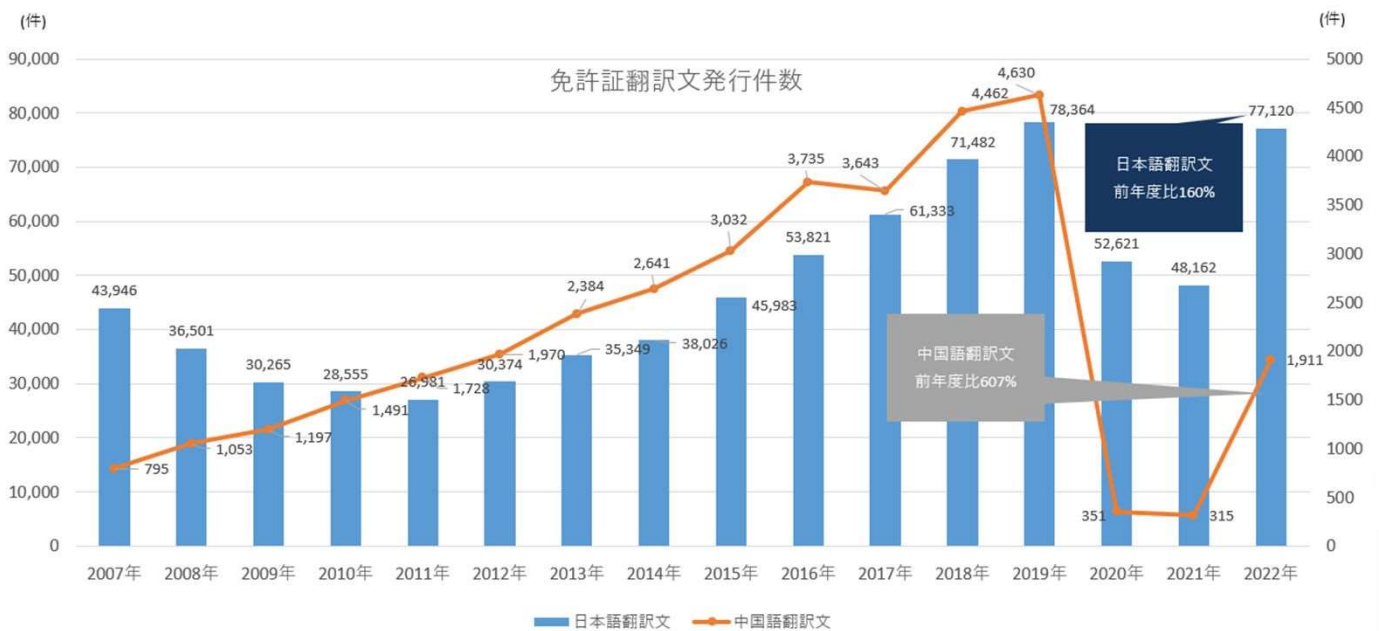
① 外国運転免許証の翻訳

外国運転免許証から日本の運転免許証に切り替える、または日本国内で運転する（特定国・地域※に限る）際に必要な外国運転免許証の「日本語による翻訳文」の発行件数は、77,120件と前年度にくらべ28,958件の増加となりました。

外国運転免許証の翻訳は5月度、7月度には就労目的での来日者と思われる申請が増加しました。10月度には入国数の上限の撤廃とツアー以外の旅行客の入国も解禁され、個人旅行客と思われる申請が増加しました。なお、日本の運転免許証所持者が台湾で運転するための中国語翻訳文の発行件数は1,911件で、前年度にくらべ1,596件の増加となりました。

また、11月7日より、オンラインにて翻訳文申請が可能となる「運転免許証翻訳文ウェブ申請サイト」の運用を開始しました。

※ ジュネーブ条約にもとづく国際運転免許証所持者は、日本に入国した日から1年間、日本で自動車などを運転することができます。一方で、ジュネーブ条約未締結または国際運転免許証を発給していない国または地域の場合、我が国と同等水準の免許制度を有している特定国・地域(スイス・ドイツ・フランス・ベルギー・モナコ公国・台湾)の運転免許証所持者は、「日本語による翻訳文」を添付して自動車などを運転することができます（日本に入国した日から1年間）。

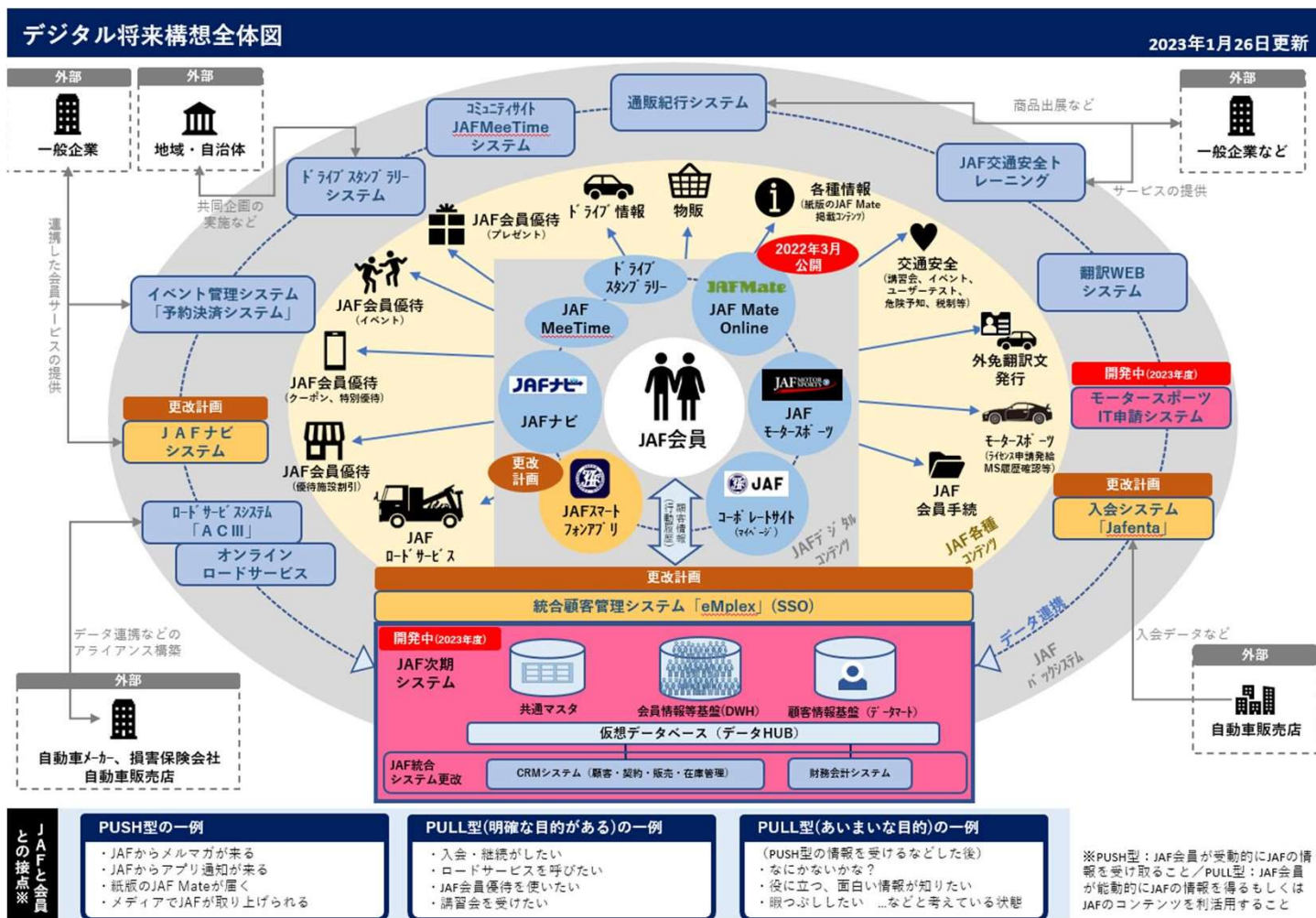


(10) 情報システム

① 基幹システム更改に関連するプロジェクト活動について

2021年に公開した「JAFのITデジタル将来構想」を実現するために、JAF統合システム更改を機に、データ分析、各種サービス業務処理のデジタル化に取り組む部署横断のプロジェクトチームが稼働しています。

業務プロセスの重複やムダを排除し、ITデジタル化をはかり、顧客データの活用やプラットフォームビジネス創出などの注力領域へシフトしていくために、新たなIT基盤の構築と体制の整備を目指しています。



JAFのITデジタル将来構想図